

平成26年度技術士第二次試験問題【農業部門】

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅱ】

II 次の2問題（II-1, II-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

II-1 次の4設問（II-1-1～II-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

II-1-1 環境保全型農業による農業生産の推進方策について述べよ。

II-1-2 多様な農業者の育成と確保方策の具体的な事例について述べよ。

II-1-3 土地改良事業の費用対効果分析の意義について述べよ。

II-1-4 食料供給力の観点からコスト縮減方策を農村地域計画の面から述べよ。

Ⅱ-2 次の2設問（Ⅱ-2-1, Ⅱ-2-2）のうち1設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙2枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-2-1 我が国の農業・農村には、農業生産額の減少や担い手の高齢化等の様々な課題がある中で「攻めの農林水産業」の政策による土地利用型農業を推進することが求められている。あなたが、土地利用型農業の推進方策策定の業務担当者として、この業務を進めるに当たり、下記の内容について記述せよ。

- (1) 土地利用型農業の推進方策の策定に当たって考慮すべき現状と課題
- (2) 推進方策策定の手順
- (3) 推進方策を実現するための諸制度の内容と制度導入に当たって留意すべき事項

Ⅱ-2-2 我が国の農業・農村は、食料を供給する役割だけでなく、その生産活動を通じ、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、良好な景観の形成等、様々な役割を有している。あなたが、この多面的機能の発揮に向けた対策計画策定の業務担当者として、この業務を進めるに当たり、下記の内容について記述せよ。

- (1) 農地及び農村における主な多面的機能とその機能の発揮メカニズム
- (2) 農業農村整備事業を通じた主な多面的機能の発揮に向けた対策計画の策定手順
- (3) (2) の対策計画の策定に当たって留意すべき事項

平成26年度技術士第二次試験問題【農業部門】

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1, Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、
答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 地域資源を活かした都市と農村の交流は、都市住民への農作業等の体験を通じた精神の安定、健康の維持・増進や子供への農業・農村体験は農業への理解と関心や食生活への興味を高めるなどの効果が期待され、教育、医療、観光の場としての活用による農村地域の活性化に重要な役割が期待されている。このような役割を踏まえて、農村活性化計画の策定に当たって、以下の問い合わせ答えよ。

- (1) 農業・農村の地域資源を活かした都市と農村の交流の役割を踏まえた農村活性化計画の策定に当たって検討しなければならない項目を多様な視点から述べよ。
- (2) 上述した検討すべき項目に対し、解決すべき技術的課題を抽出し、主要な課題解決のための実現性の高い対応策を複数提示せよ。
- (3) それぞれの対応策を実施した場合のメリット（効果）とそれらを実行する場合の問題点を論述せよ。

Ⅲ-2 平成14年の行政機関が行う政策の評価に関する法律の施行に伴い、平成19年に土地改良事業の費用対効果分析マニュアルが策定され評価手法の改善が行われ、景観・環境保全効果等の算定手法については、CVM（仮想市場法）により算定することとされた。このことを踏まえて、以下の問い合わせ答えよ。

- (1) 景観・環境保全効果等の費用対効果分析に当たって、検討しなければならない効果の発生要因について述べよ。
- (2) 上述した効果発生要因の年効果額の算定は、CVM手法によって算定することとなっているが、算定に当たっての技術的課題を抽出し、主要な課題に対する解決策を複数提示せよ。
- (3) あなたの提示した方法で評価した場合の総便益算定のメリットと評価する場合の問題点を論述せよ。